

第14回宇宙開発委員会(臨時会議)

議 事 次 第

1. 日 時 昭和59年5月14日(月)

午後3時～4時

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 (1)放送衛星対策特別委員会の設置について

(2)放送衛星対策特別委員会の設置に伴う放送衛星2号-aの中継器に生じた異常に関する審議の取扱いについて

4. 資 料

委14-1 第13回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)

委14-2 放送衛星対策特別委員会の設置について(案)

委14-3 放送衛星対策特別委員会の設置に伴う放送衛星2号-aの中継器に生じた異常に関する審議の取扱いについて(案)

# 委14-1

## 第13回宇宙開発委員会(定例会議)

### 議 事 要 旨 (案)

1. 日 時 昭和59年5月9日(水)  
午後3時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 静止気象衛星2号(GMS-2)の可視赤外走査放射計(VISSR)に生じた不具合の原因究明及び今後の対策について  
(2) H-IIロケットのコンフィギュレーションに関する審議について

#### 4. 資 料

- 委13-1 第12回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)
- 委13-2 静止気象衛星2号(GMS-2)の可視赤外走査放射計(VISSR)に生じた不具合の原因究明及び今後の対策について(報告)
- 委13-3 H-IIロケットのコンフィギュレーションに関する審議について(案)

#### 5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

“ 委員

“ “

“ “

吉 識 雅 夫

齋 藤 成 文

井 上 啓 次 郎

大 塚 茂

#### 説明者

宇宙開発委員会第四部会長

関係省庁職員等

科学技術庁長官官房審議官

文部省学術国際局審議官

通商産業省機械情報産業局次長

運輸省大臣官房審議官

“ 海上保安庁総務部長

“ 気象庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

“ “ 宇宙通信開発課

文部省宇宙科学研究所管理部研究協力課

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

“ “ 宇宙国際課長

佐 貫 亦 男

三 浦 信

植 木 浩

(代理:柴崎)

児 玉 幸 治

(代理:佐藤)

武 石 章

(代理:沼野)

植 村 香 苗

(代理:谷)

平 井 清

(代理:中村)

永 野 明

(代理:田中)

増 田 勝 彦

秋 元 春 雄

清 水 眞 金

森 忠 久

他

## 6. 議 事

### (1) 前回議事要旨の確認

第12回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨案(資料委13-1)が確認された。

### (2) 静止気象衛星2号(GMS-2)の可視赤外走査放射計(VISSR)に生じた不具合の原因究明及び今後の対策について

佐貫亦男第四部会長より、資料委13-2に基づき説明が行われたのち、第四部会報告書が了承された。

### (3) H-IIロケットのコンフィギュレーションに関する審議について

吉識委員長代理より、以下の発言が行われたのち、事務局より、資料委13-3に基づき説明が行われ、第二部会への審議付託が原案どおり決定された。

吉識：昭和53年8月30日委員会決定により、H-Iロケット開発について第二部会に審議付託された事項に関し、昭和55年5月の第一次報告書においては、800kg級静止衛星打上げ能力を有するH-Iロケットの開発について引き続き調査審議を行うこととされていた。

しかしながら、本年2月23日の宇宙開発政策大綱の改訂によって、800kg級静止衛星打上げ能力を有するH-Iロケットの開発は行わないこととされたため、昭和53年8月30日の決定により第二部会に審議付託されていた事項については調査審議が終了したものとする。

# 委14-2

## 放送衛星対策特別委員会の設置について(案)

昭和59年5月14日

宇宙開発委員会決定

このたび、放送衛星2号-a[ゆり2号-a](BS-2a)の中継器に異常を生じたが、宇宙開発委員会としてこの事態を厳粛に受けとめ、放送衛星2号-aに生じた異常に関し、すみやかに原因の究明及び今後の対策について審議を行うため、以下により宇宙開発委員会に放送衛星対策特別委員会(以下「特別委員会」という。)を設置する。

1. 特別委員会は、次の事項について審議を行う。

(1) 放送衛星2号-aの中継器に生じた異常の原因究明

(2) 今後の対策

2. 放送衛星2号-aの中継器に生じた異常の原因究明及び今後の対策に関する技術的事項を検討するため、特別委員会に専門家で構成される技術小委員会を設ける。

3. 特別委員会及び技術小委員会の構成は、それぞれ別紙1及び別紙2のとおりとする。

4. その他特別委員会の運営に必要な事項は、特別委員会で定める。

(別紙1)

放送衛星対策特別委員会構成員(案)

|    |         |   |
|----|---------|---|
| 座長 | 吉 識 雅 夫 | 宇宙開発委員会委員長代理                              |
|    | 斎 藤 成 文 | 宇宙開発委員会委員                                 |
|    | 井 上 啓次郎 | 宇宙開発委員会委員                                 |
|    | 大 塚 茂   | 宇宙開発委員会委員                                 |
|    | 岡 村 総 吾 | 日本学術振興会理事長 電波監理審議会<br>委員                  |
|    | 佐々木 正   | 電波技術審議会委員 シャープ(株)副社<br>長                  |
|    | 佐 貫 亦 男 | 宇宙開発委員会第四部会長 日本大学理<br>工学研究所顧問             |
|    | 花 村 仁八郎 | (社)経済団体連合会副会長                             |
|    | 三 熊 文 雄 | (財)NHKエンジニアリング・サービス<br>理事長 元日本放送協会専務理事技師長 |
|    | 宮 憲 一   | 国際通信施設(株)社長 元国際電信電話<br>(株)副社長             |
|    | 米 澤 滋   | 科学技術会議議員                                  |

(別紙2)

技術小委員会構成員(案)

座長

|      |                    |
|------|--------------------|
| 齋藤成文 | 宇宙開発委員会委員          |
| 大越孝敬 | 東京大学工学部教授          |
| 木村悦郎 | 日本放送協会総合技術研究所長     |
| 小山次郎 | 大阪大学工学部教授          |
| 佐藤敏雄 | 国際電信電話(株)伝送部長      |
| 野村民也 | 文部省宇宙科学研究所教授       |
| 林友直  | 文部省宇宙科学研究所教授       |
| 宮内一洋 | 日本電信電話公社研究開発本部副本部長 |

審議に当たっては、必要に応じ、専門家の協力を得る。

# 委14-3

放送衛星対策特別委員会の設置に伴う放送衛星2号-aの  
中継器に生じた異常に関する審議の取扱いについて(案)

昭和59年5月14日

宇宙開発委員会決定

放送衛星2号-aの中継器に生じた異常の原因究明及び今後の対策に関する技術的事項については、「昭和58年度1~2月期における人工衛星及び人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価に関する審議について」(昭和59年4月18日宇宙開発委員会決定)にかかわらず、放送衛星対策特別委員会において審議を行うものとする。

昭和58年度1～2月期における人工衛星及び  
人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結果の評価  
に関する審議について

昭和59年4月18日  
宇宙開発委員会決定

1. 昭和58年度1～2月期において文部省宇宙科学研究所が行ったM-3Sロケット4号機による第9号科学衛星(EXOS-C)の打上げ及び宇宙開発事業団が行ったNロケット12号機(F)(N-IIロケット5号機(F))による放送衛星2号-a(BS-2a)の打上げの結果を評価するために調査審議を行うものとする。
2. このため、評価に必要な技術的事項について、第四部会において調査審議を行うものとする。この調査審議は、昭和59年6月末までに終えることを目途とする。